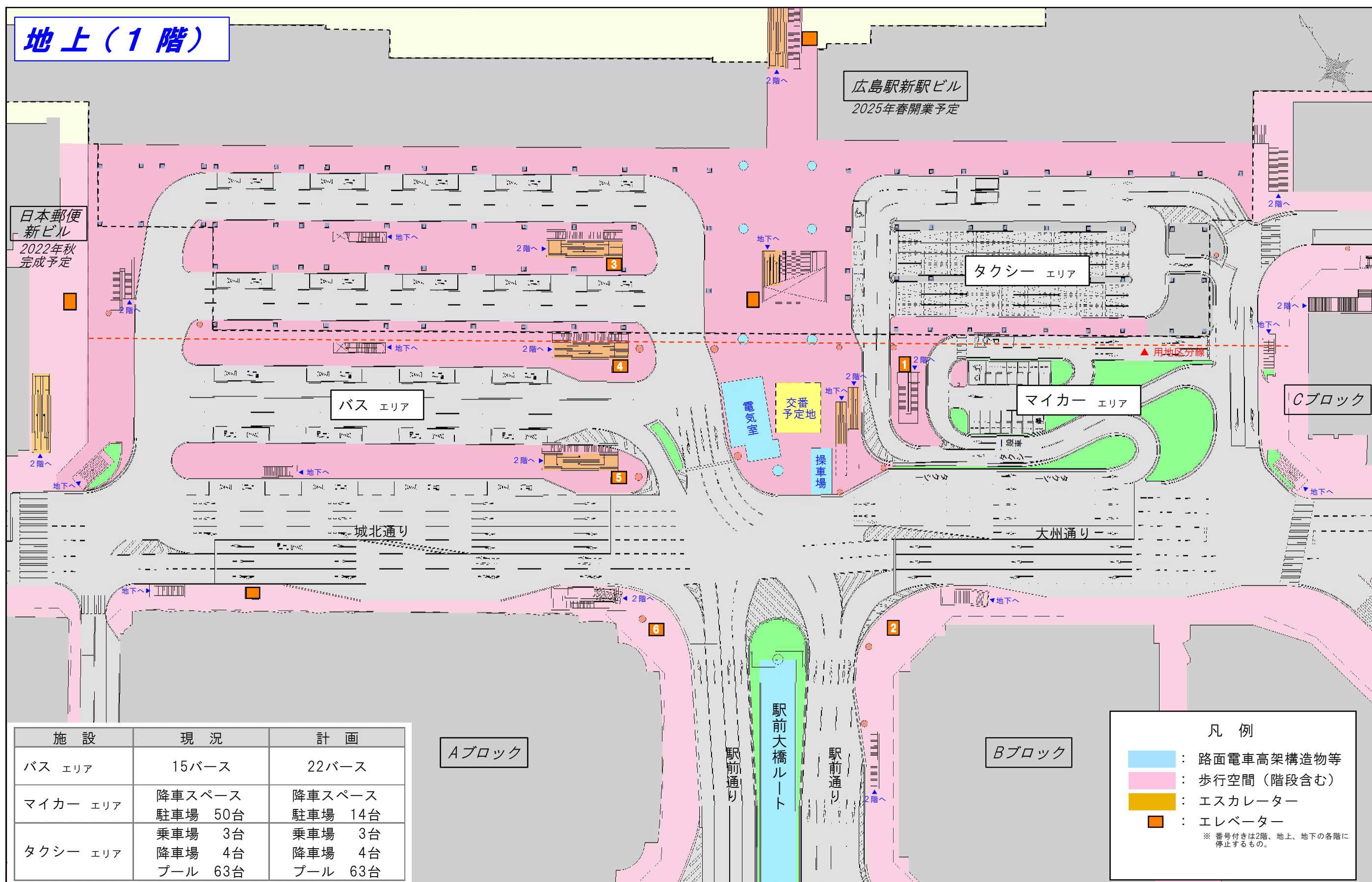
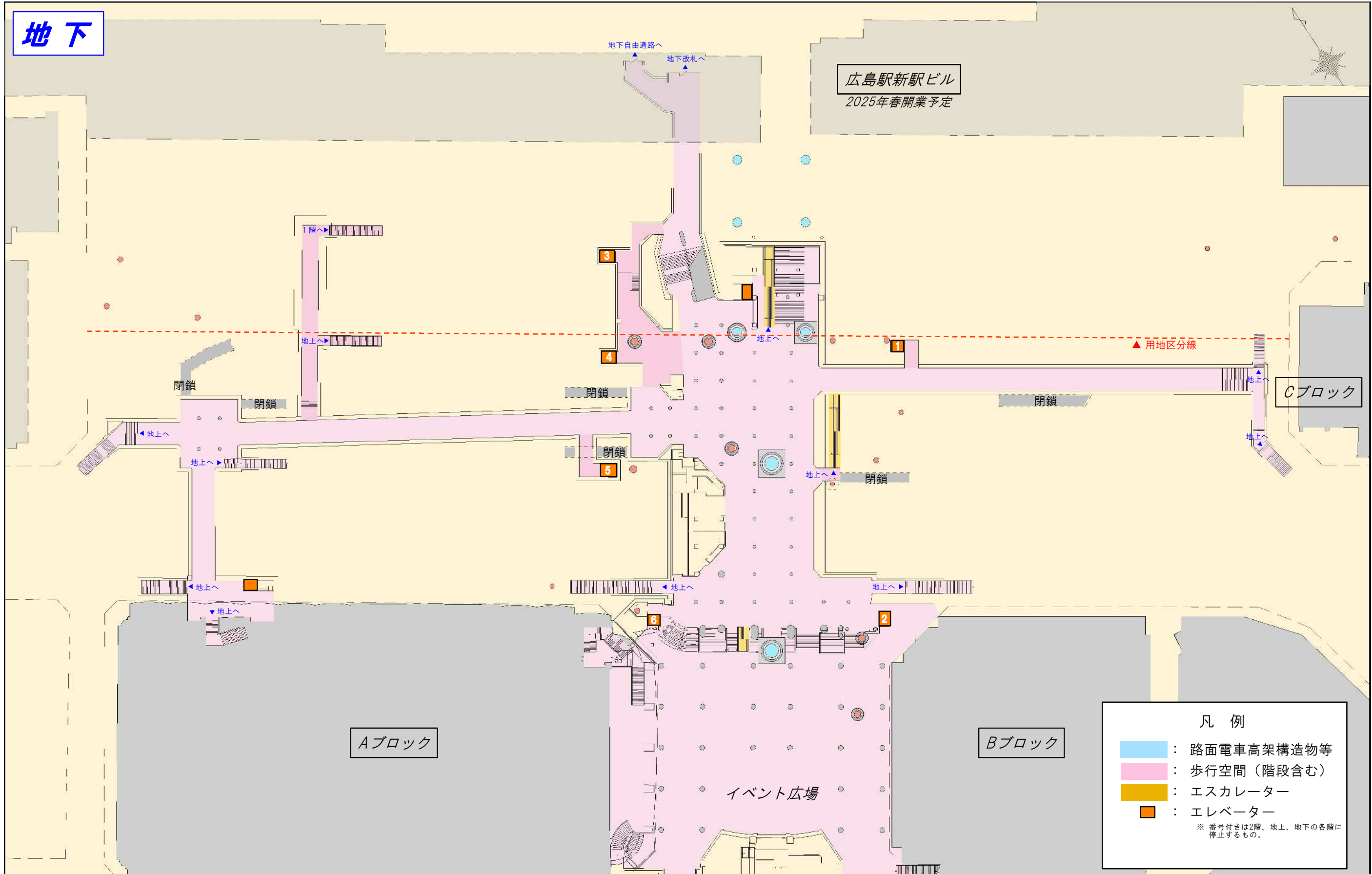


広島駅南口広場の再整備等について

広島市
道路交通局都市交通部
広島駅南口整備担当









※ 色やデザインなどは、現時点でのイメージを示したものであり、確定したものではありません。



※ 色やデザインなどは、現時点でのイメージを示したものであり、確定したものではありません。



※ 色やデザインなどは、現時点でのイメージを示したものであり、確定したものではありません。



夜間のイメージ

※ 色やデザインなどは、現時点でのイメージを示したものであり、確定したものではありません。

広島駅南口広場の再整備等に係る事業費の見直し（令和３年２月）

１ 見直し後の事業費について

区 分		金 額	備 考
当初事業費		１５５億円	※ H26.9時点で想定されるものを見込んでいた
増加額		２０５億円	
総事業費		３６０億円	費用対効果：B／C＝１.５
負担額	国	１７２億円	補助金及び交付金を活用
	広島市(※)	１７０億円	
	広島電鉄	１８億円	

※ JR西日本は、土地所有者として「都市計画による駅前広場の造成に関する申し合わせについて」（H14.4.25 国土交通省通知）に基づき、広場造成費（アスファルト舗装相当分）の1/6を負担することにしており、その負担額（数千万円）は、本市との施行委託協定の中で処理するため、「広島市」の内数としている。

<総事業費の性質別区分>

区 分	金 額
公共交通機関の機能強化 (広場、路面電車２ルート of 整備)	２０８億円 (+ 77 億円)
賑わいの創出 (ペDESTリアンデッキや大屋根等の整備)	７６億円 (+ 55 億円)
バリアフリー化 (エスカレーターやエレベーターの整備)	９億円 (+ 6 億円)
既存施設の改良等	２６億円 (+ 26 億円)
準備工事、仮設工事、実施設計等	４１億円 (+ 41 億円)
総事業費	３６０億円 (+205 億円)

※ () は当初事業費に対する増加額

２ 事業費の増加額について

区 分	内 容	金 額
広場、ペDESTリアンデッキなど	○ 路面電車乗降場や賑わい空間を覆う大屋根等の追加 ○ Aブロック、BブロックへのペDESTリアンデッキの拡張、 Cブロック、日本郵便の新ビルへのペDESTリアンデッキの追加、 及び地下広場への影響を抑えるための橋脚基礎構造の見直しによる変更増 ○ ２階とバス乗降場などを結ぶエスカレーター（１０基）の新設 ○ 路面電車乗降場との接続部の南北自由通路の改良や、地下とバス乗降場を結ぶための地下通路の新設などの追加 ○ 新たにバスが走行する部分などの地下広場躯体の補強の追加 ○ 既設の地下埋設物や地下広場の換気塔、エスカレーター、電気設備の移設などの準備工事の追加 ○ 地下広場部分に構築する橋脚基礎に係る薬液注入工法等の仮設工事の追加など	+ １１３億円
路面電車駅前大橋ルート・循環ルート における高架構造物、乗降場、軌道ブロック、 レール、架線、信号通信設備など	○ 現地条件を反映した構造計算に基づく橋脚基礎の見直しなどの変更増 ○ 新設軌道と既存軌道との接続部における軌道ブロック、レール等の改良の追加 ○ 地下広場部分に構築する橋脚基礎に係る薬液注入工法等の仮設工事の追加 ○ 軌道切替に伴う仮設工事（レール、枕木、架線等の設置・撤去）の追加	+ ８０億円
実施設計等	実施設計・土質調査、地下埋設物調査	+ １２億円
合 計		+ ２０５億円

※ 既存の地下広場のリニューアル（床、壁面、天井、照明等）などについては、今後、関係者と調整しながら検討する予定としており、現時点では上記に含めていない。